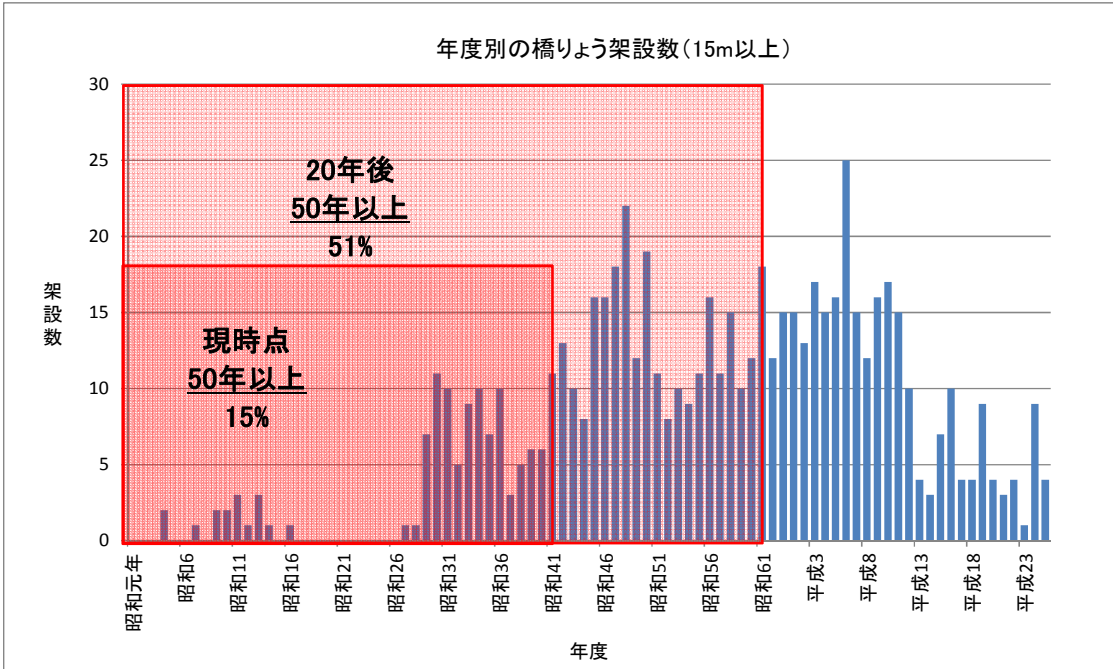
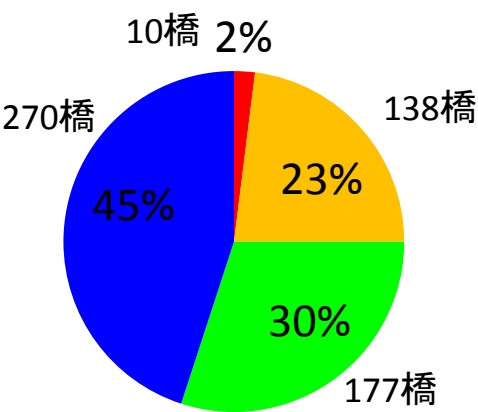


施設の現況	点検・補修等の実施状況	維持管理に係る課題																																																																																								
■施設数の推移  ○15m以上の橋りょう595橋のうち ・現在、50年以上経過 →90橋(全体の15%) ・20年後、50年以上経過 →303橋(全体の51%) ■点検結果(第1巡目定期点検:H19年～H23年実施) <table><tr><td>緊急対応</td><td>早急に補修等の対策が必要なもの</td></tr><tr><td>早期対応</td><td>早急な対策は必要がないが、1～2年程度のうちに対策が必要なもの</td></tr><tr><td>中期対応</td><td>概ね、次回点検までには、補修が必要なもの</td></tr><tr><td>健全</td><td>健全状態</td></tr></table> 緊急対応が必要と判定された橋りょう10橋は、点検後に補修を実施済	緊急対応	早急に補修等の対策が必要なもの	早期対応	早急な対策は必要がないが、1～2年程度のうちに対策が必要なもの	中期対応	概ね、次回点検までには、補修が必要なもの	健全	健全状態	■計画 ○H8:地震防災緊急事業5箇年計画(H23:第4次計画へ改訂) ・S55年以前の基準で設計された緊急輸送道路の橋(230橋)の耐震化 ○H17:京都の道長寿プラン ・長寿命化、維持管理コストの縮減のため、道路施設の維持管理にアセットマネジメントの考え方を導入 ○H17:「京都府道路施設維持管理基本計画」策定 ・計画的な維持管理を実施するため、施設や地域の特性を考慮した維持管理の方針を策定 ○H18:「京都府道路施設維持管理実施計画」策定(H20改定) ・管理水準、優先順位の設定等の実施方針の検討 ○H21:「京都府橋梁長寿命化修繕計画」策定(対象:15m以上、595橋) ・維持管理計画の基本方針により、橋りょうを最適な状態に維持することを目的に長寿命化修繕計画策定 →今後50年間で補修・架替に要する費用を約2割(288億円)の縮減 ■点検 ○H18:「京都府橋りょう点検マニュアル」策定(H20改定) ・定期点検:5年に一度の頻度で「遠望目視」と、「近接目視」(約100橋:長大橋、特殊構造な橋)にて点検を実施。 ○H26.6「道路橋定期点検基準・要領」(国土交通省) →全ての橋りょうの近接目視点検(1回/5年)が義務化 ○点検実施状況 (橋りょう数) <table><tr><th></th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>平均</th></tr><tr><td>職員</td><td>104</td><td>93</td><td>91</td><td>90</td><td>82</td><td>88</td><td>91</td></tr><tr><td>委託</td><td>306</td><td>310</td><td>310</td><td>319</td><td>326</td><td>319</td><td>315</td></tr><tr><td>計</td><td>410</td><td>403</td><td>401</td><td>409</td><td>408</td><td>407</td><td>406</td></tr></table> H19～H23年:1巡目定期点検H24年～:2巡目定期点検 ■補修 ○「損傷程度」、「安全性」、「景観」、「コスト」を総合的に評価し、優先順位付けを行い、補修箇所を選定 ○補修等の状況 (百万円) <table><tr><th></th><th></th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>平均</th></tr><tr><td>補修</td><td>橋りょう数</td><td>20</td><td>35</td><td>16</td><td>18</td><td>20</td><td>22</td></tr><tr><td>補修</td><td>補修費用</td><td>470</td><td>602</td><td>486</td><td>1,175</td><td>513</td><td>649</td></tr><tr><td>架替</td><td>橋りょう数</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>架替</td><td>架替費用</td><td>786</td><td>1,083</td><td>155</td><td>253</td><td>292</td><td>514</td></tr><tr><td>経常経費</td><td></td><td>30</td><td>30</td><td>40</td><td>50</td><td>100</td><td>50</td></tr></table> H18～H21年:京都府道路施設維持管理実施計画H22年～:長寿命化修繕計画 ○耐震対策「第4次地震防災緊急事業5箇年計画」 ・緊急輸送道路から実施し、H27年からその他の道路を本格着手 →緊急輸送道路【1次】98%(100橋/102橋)、【2次】97%(125橋/128橋)跨線・跨道橋100%(17橋/17橋) ■データベース ○H14:「京都府橋りょうデータベース」構築(15m以上の約600橋) ○H25:道路施設管理システムに一元化(2m以上の橋りょう約2,000橋) ・橋りょう台帳、点検データ、工事履歴等の蓄積		H20	H21	H22	H23	H24	H25	平均	職員	104	93	91	90	82	88	91	委託	306	310	310	319	326	319	315	計	410	403	401	409	408	407	406			H21	H22	H23	H24	H25	平均	補修	橋りょう数	20	35	16	18	20	22	補修	補修費用	470	602	486	1,175	513	649	架替	橋りょう数	2	2	1	2	2	1	架替	架替費用	786	1,083	155	253	292	514	経常経費		30	30	40	50	100	50	■長寿命化修繕計画を改訂し、最適な投資計画の再評価 ・15m以上の橋については、長寿命化修繕計画により、H22～H31年度の10年間の投資計画(7億円/年)を策定し、計画的補修に取り組んでおり、点検、補修のデータが蓄積されているため、進捗運用状況等の検証が必要。 ・15m未満の橋(1,331橋)についても、点検に着手しており、今後、長寿命化修繕計画の策定が必要。 ・長寿命化修繕計画により延命化した橋についても、最終的に架替えが必要となり、更新等に関する基本方針の策定が必要。 ・橋りょうの長寿命化の実施と耐震化の促進が必要。 ■安定的な修繕・更新予算の確保 ・供用年数が経過することで、大規模な修繕・更新が必要な橋りょうが増加し、現在の修繕費用では更新(架替等)費用が不足する。 ■京都府橋りょう点検マニュアルの改訂 ・国の道路橋定期点検基準・要領に合わせ、京都府橋りょう点検マニュアルの改訂が必要。 ■維持管理に携わる人材の確保と技術力の向上 ・維持管理の分野は、全国的にも長寿命化修繕計画策定以降、本格的に取り組まれ、今後も増大する見込みであり、管理者、設計者、施工者ともに、点検、評価、補修、施工方法に関する技術力向上が必要。 取組の方向性 ■個別施設計画(長寿命化修繕計画の改訂)の策定 ・2巡目の点検実施に合わせ、長寿命化修繕計画(15m以上)の改訂を行う。 ・15m未満の橋も含めた長寿命化修繕計画の策定 ・長寿命化修繕計画の見直しに合わせて、緊急輸送道路以外の橋りょう(約350橋の内、耐震補強が必要な約150橋)についても耐震化計画を策定する。 ■マニュアル改訂・データベースの機能強化 ・京都府橋りょう点検マニュアルの改訂 ・橋りょうデータベースの情報を「京都府統合型地図情報システム(GIS)」と連携強化する等により、システムの高度化、情報の共有化を図る。 ■人材の育成 ・維持管理に関する研修、見学会、講習会等で専門技術(知識)の育成を図る。 [府職員]:各土木事務所毎に橋りょう担当者を選任し、橋りょうのスペシャリストを育成する。 [設計・施工者]:定期点検、緊急時の対応、日常的な小規模修繕が確実に行えるよう、地元業者等の人材(技術力)育成の機会の提供と資格取得を推奨する。
緊急対応	早急に補修等の対策が必要なもの																																																																																									
早期対応	早急な対策は必要がないが、1～2年程度のうちに対策が必要なもの																																																																																									
中期対応	概ね、次回点検までには、補修が必要なもの																																																																																									
健全	健全状態																																																																																									
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	平均																																																																																			
職員	104	93	91	90	82	88	91																																																																																			
委託	306	310	310	319	326	319	315																																																																																			
計	410	403	401	409	408	407	406																																																																																			
		H21	H22	H23	H24	H25	平均																																																																																			
補修	橋りょう数	20	35	16	18	20	22																																																																																			
補修	補修費用	470	602	486	1,175	513	649																																																																																			
架替	橋りょう数	2	2	1	2	2	1																																																																																			
架替	架替費用	786	1,083	155	253	292	514																																																																																			
経常経費		30	30	40	50	100	50																																																																																			

資 料

修繕計画 優先順位決定サイクル

【安全性】

	グループa その他	グループb 歩道、駐車場 など	グループc 一般道 (市道以上)	グループd 幹道、高速道路
大	4	4	4	4
Ⅱ	0	3	3	4
Ⅲ	0	0	0	3
小	0	0	0	0

低 影響度 高

【景観・環境】

	グループa その他	グループb 人口密集地 (近郊部)	グループc 景観に配慮した 橋梁	グループd 風致地区等
大	4	4	4	4
Ⅱ	0	3	3	4
Ⅲ	0	0	0	3
小	0	0	0	0

低 影響度 高

【経済損失】

1日当たりの経済損失額×規制日数			
～10万円	10万円～ 100万円	100万円～ 1千万円	1千万円～
1	2	3	4

低 優先順位 高

【補修コスト増加】

【優先順位の決定（例）】

	優先順位の決定				第1 決定 要素 最高点	第2 決定 要素 合計点	第3 決定 要素 損傷度	優先 順位
	安全性	景観 環境	経済 損失	補修 コスト増				
橋梁A	3	4	1	1	4	9	4.5	①
橋梁B	3	3	2	3	3	11	4.0	②
橋梁C	3	3	2	2	3	10	2.5	③
橋梁D	3	3	2	2	3	10	3.5	④
橋梁E	0	0						

京都府の橋

滝根橋

明治39年架設

綾部大橋(登録有形文化財)

昭和4年架設(85才)

山城大橋(鋼橋)

平成9年架替

新綾部大橋
(コンクリート橋)

昭和63年架設

広野大橋(複合橋)

平成22年架設

修繕

鋼橋

大井谷橋

コンクリート

大川橋

耐震

落橋防止

淀大橋

橋脚巻立

城陽橋

取組事例

桁端部の凍結防止剤洗浄（腐食防止）

桁端部は凍結防止剤が溜まり、錆び易い

雲原1号橋

ラジコンヘリ撮影による点検（足場が不要）

足場がないと、見に行けない

城陽橋